

令和6年度 第1回高梁市在宅医療・介護連携推進協議会 要旨

日 時 令和6年7月5日（金）19時～

場 所 高梁市役所 2階 保健センター

出席委員 仲田委員、野村委員、笹川委員、草野委員、磯村委員、高下委員
荒木委員、植田委員（安井委員代理）、三尾委員、佐藤委員、猪元委員
原田委員、内田委員、松浦委員（ラインワークスにて）

欠席委員 鶴見委員、樋口委員、竹崎委員

1 開 会

内田所長（進行含む）

2 会長・副会長の選出

仲田会長、草野副会長を選任

3 あいさつ

仲田会長：コロナが、倉敷や総社辺りで結構出ている。学校・学級閉鎖もでてい
るようです。是非、十分に注意をしていただけたらと。それでは、本
日も皆様のご意見を伺いながら、進めていきたいと思えます。

4 協 議 事 項

（1）令和6年度高梁市における地域ケア会議の全体像について P 5～6

<令和6年度の事業計画について>

（2）在宅医療・介護連携推進事業について P 7～8

案了承

市民公開講座については、詳細を実務者部会長調整しながら、内容について会
長と副会長に了承をいただく方針とする。

（2）実務者部会について P 9～12

（4）高梁かんどねっとについて P 13～14

5 そ の 他

- ・岡山県難病患者災害時要配慮者リスト・個別支援シート作成のフロー
- ・地域保健医療計画
→備北保健所 猪元委員より説明

- ・家族介護者のつどいについて
→事務局より説明

6 閉 会

草野副会長：協議会のキーワードが段々と変わってきている。顔の見える関係から始まって、今はICT。現状を活かした中で、在宅医療と介護の連携を皆さんに協力をいただきながら進めていく。また2年間よろしくをお願いします。

発言要旨

(3) 令和6年度高梁市における地域ケア会議の全体像について

野村委員：資料5Pにある、資源開発とは？人的なものでしょうか。

事務局：人的なものだけでなく、地域の社会資源と両方含んでいるものです。

仲田会長：基本は同じですが、何年かごとにこの枠組みが少しずつ変わっているというところではあります。

<令和6年度の事業計画について>

(2) 在宅医療・介護連携推進事業について

仲田会長：ラインワークスは、皆さんも多く利用されていると思います。晴れやかネットよりは、利用がしやすいかと思います。何かご意見はありますでしょうか。

私に関わらせていただいた方で、最期まで自宅にいたい人。ラインワークスでチームを作ったのですが。

介護保険でみまもりCUBEを使用し、定期的に家族のスマホに映像が飛ぶようになっていて。家族も前よりは安心されたようです。

何かあったら、私に連絡するようになっていただいたのですが、夜中に呼ばれると道が大変な家で。結局夜中に呼ばれるような事はなかったのですが。ずっと医療・介護チームで見守りするのは大変なので、家族に見守っていただく事にしました。

この事例に関わった方がおられますか。

笹川委員：ケアマネさんとかヘルパーさんとか、患者さんや家族さんからの情報を頻繁に書いてくださっているのので、それを把握したうえで投薬できる。患者さんと話すときも、その話をしたうえで会話ができる。患者さんも、同じ話を2回も3回も言わないで済む。そういった事が結構便利だったように思う。処方薬の中止もドクターから指示をいただいて、ラインワークスを使ってスムーズにできた。このケースに関わる方の意思統一も早かったと思います。

仲田会長：市民公開講座は、この中のどなたかに撮影の話があるとのことでしょうか。

事務局：よろしく申し上げます。

野村委員：フレイルという言葉、一般の方になじみがないかもしれない。わかりやすい表現で。

猪元委員：確かななじみがないかもしれない。寝たきり予防とは、定義が少し違

うが。

仲田会長：中尾先生の話はすごく面白いものです。何度か話を聞きました。

市民公開講座については、内容や方法について会長と副会長に相談しながら進めていくという方向で。

(3) 実務者部会について

仲田会長：実務者部会について、部会の方から追加意見がありますか。

三尾委員：多職種研修会ですが、皆さんがいろいろなストレスを抱えている中で業務にあたっているので、メンタルヘルスの研修をする意見が出ています。

佐藤委員：ラインワークスの活用について。いきなりラインワークスからではなく、まずは顔の見える関係が出来てからの利用と考えている。またラインワークス自体の課題もあるので、その課題をどうしていくか皆で検討していきたい。

仲田会長：災害時にもラインワークスが使えないか、と思うのですが。

佐藤委員：大切な事だと思います。災害用の Wi-Fi もあるので、そういったものを使っていければ。

仲田会長：メンタルヘルの件ですが、施設内看取りが増えてきて、経験がない人は大変です。職員の精神的な負担軽減は、重要なことだと思う。

(4) 高梁かんどねっとについて

仲田会長：原田委員さんの方から、追加がありますか。

原田委員：管理者・新入職者・プリセプター研修は、市内4病院の看護師を対象としています。フィジカルアセスメント研修は、施設看護師も対象としておりまして、明日の開催予定ですが20名以上の申込みとなっています。

野村委員：最近増えているのが、外国人向けの研修とか。

原田委員：まだそこまでには至っていない。

仲田会長：介護施設の看護師さんが、研修に参加できるのは良いことですね。研修はリモートもされるのですか？

原田委員：講師との調整もありますが、なるべく体験型で考えています。

野村委員：フィジカルアセスメントは、聴診器一本あって慣ればすぐにできるもの。是非、施設でも慣れて出来るようになってもらいたい。

仲田会長：磯村委員、何かご意見を。

磯村委員：現場の方は、忙しく大変にしている。こういった研修会には是非参加してもらえれば。

仲田会長：高下委員は、何かありますか。

高下委員：ACPについて。病院でも救急搬送される方がおられるのですが、どこまで対応したらよいか。普通に一般の人が会話の中でACPについて話ができるようになって欲しいです。

内田委員：救急要請がくると、心肺停止の状態であっても、救命士は積極的に救命活動を行うようになります。ACPが普及してくれば、現場での対応が変わってくるかと思います。ACPがもっと普及してくれる事を希望します。

医療機関では、具体的にACPの話はされるのでしょうか。

仲田会長：私は話をします。最後まで自分の家で看取りをするのだったら、最期は私に連絡するよう言っています。時間の問題で、何処まで対応出来るかとの問題もありますが。

内田委員：救命士は積極的に延命措置をするようになるので、そのあたりの判断をご家族でしていただきたい。事前に、家族間で協議をしっかりとっていたいただければ良いのですが。

仲田会長：荒木委員ご意見をお願いします。

荒木委員：看護師だけの研修会だけでなく、多職種向けの枠もあるとのことで、こういった研修会に参加していきたい。

仲田会長：植田委員もご意見をお願いします。

植田委員：病院で勤務をしているのですが、こういった取り組みをしている事知らない職員も多い。スタッフと共有して知ってもらえれば。

笹川委員：看護ネットの多職種研修会ですが、こういった職種までの参加になりますでしょうか。興味のある薬剤師もいると思いますが。

原田委員：薬剤師会にもご案内させていただきます。

野村委員：先ほど、災害時のラインワークスの活用という話がでましたが、市役所の方では活用を考えているのか。

事務局：ラインワークス自体が、営業時間のみの運用という事業所もあるのですが、その辺りをどうしていくのかという課題はありますが、災害時の活用は考えてきたい。

野村委員：その辺りの活用は考えてください。

以前は、ミニデイで講話をしていたが、それが減ったように思います。私はミニデイの講話の中で、ACPの広報をしていた。そちらでACP

について PR ができれば。

事務局：回数は減ってはいないようですが、参加者の希望というかそういった変化もあるようです。

仲田会長：実務者の方にお問い合わせがあるのですが、見守りのシステム。いいものがあれば、教えてもらいたいと思います。

草野副会長、ご意見をお願いします。

草野副会長：ケアマネジャーの立場で発言をさせていただきます。今年の2月に医療と介護の連携研修会があり、高梁市として研修会のトップバッターとして発言をさせていただきました。県のケアマネ協会長から、高梁市では地域完結型でサービスが成り立っていると。どの部分を評価してもらっているのか分かりませんが、こういった顔の見える関係があって、救急とかで県南に行っても帰ってくる受け皿がある。仲田会長にも事例に基づいて話をさせていただいて、医療計画の話もしてもらいました。例えばラインワークスの話。こういったツールがない市町村も多く、高梁市頑張っているとの評価でした。平成27年度からこの事業が始まって、最初は顔の見える関係づくりから始めて、今は地域完結型としての評価をいただいた、ようです。

5 そ の 他

- ・岡山県難病患者災害時要配慮者リスト・個別支援シート作成のフロー
- ・地域保健医療計画

野村委員：私の患者さんで、難病指定は受けていないが在宅酸素の人がいる。そういった人は、このリストには入ってこないのか。

猪元委員：こちらのリストは、難病患者のみになる。こういった見守りが広がっていけばよいと思いますし、大人だけでなく医療ケア児とか、難病指定ではない人とか。リスクが高い人のリストを、市役所の方で作成することになると思います。

医療計画についても、中山間地域の看護師不足に対し、岡山県として看護師確保の体制整備を考えていく予定です。